

 社協

# ながはま

第29号

平成25年  
7月

 は社協のシンボルマークです。



発行 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会

〒529-0341 滋賀県長浜市湖北町速水 2745 長浜市役所湖北支所3階  
TEL.0749-78-8294 FAX.0749-78-8800

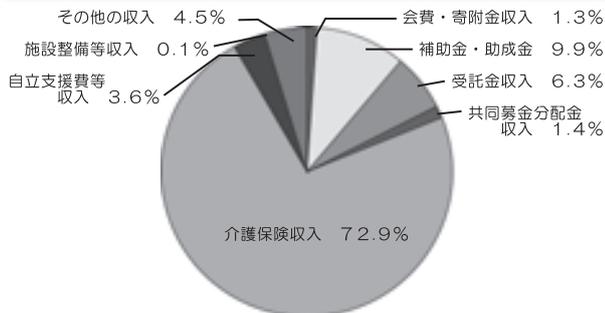


この広報誌は共同募金の配分金で作られています。

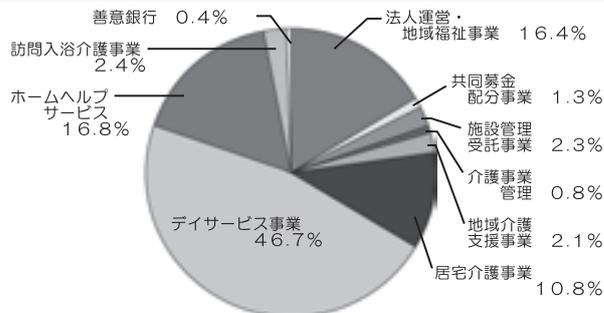
# 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会

## 平成24年度 一般会計決算のあらまし

収入合計 1,322,476,321円



支出合計 1,298,304,453円



## 平成24年度 事業のあらまし

### 地域福祉活動支援

地域福祉活動計画の策定  
地域住民や福祉関係団体、ボランティア団体、当事者組織等が互いに連携し、地域福祉の進むべき方向性を共有して、地域福祉推進の役割を担っていくため、地域福祉活動計画策定を進めています。

- ・策定委員会 二回
- ・地区別委員会 四三回
- ・団体ヒアリング 二回
- ・その他研修会等 一九回

地区社協支援事業  
地域の実情に応じた福祉活動を推進する基幹的福祉団体である地区社協への支援を実施しました。

- ・地区社協設置数 一五地区

### 福祉委員支援事業

地域の実情に応じた小地域福祉活動が地域で実践されるため、研修会を開催しました。

- ・福祉委員研修会 九回

地域での見守り活動の推進  
見守りが必要な要援護者等が地域で安心して生活できるよう、見守り支えあいの活動を推進しました。

- ・避難支援・見守り支えあい制度の登録推進
- ・災害支援研修会の開催

### 災害支援活動ネットワーク事業

地域内の様々な組織・団体・企業等が協働し、平常時から地域の防災・減災活動に円滑な取り組みができる関係づくりを目指して、二地区で研修・啓発・減災活動を行いました。

ふれあい電話事業  
ひとり暮らし高齢者等を対象に、ボランティアによる友愛活動や安否確認、生活相談を行いました。

- ・電話件数 延べ二二五七件

### ふれあいサロン事業

地域住民同士がふれあえるサロン活動の支援を行い、地域の交流を深めるとともに、住民の地域福祉に対する意識の向上に努めました。

- ・助成団体数 一三九団体

### 広報・啓発事業

福祉関係の情報や本会事業の取り組みを広報誌やホームページで紹介しました。

### 福祉活動団体への支援

市内で活動する福祉団体に対して支援を行い、育成や活動の促進に努めました。

- ・助成団体七団体（九事業）



### 歳末たすけあい運動

新たな年を迎える時期に、誰もが安心して過ごせるよう、地域の助け合いや支えあいの活動を行いました。

### しょうがい児者交流事業

地域でいきいきとした生活を送れるよう、社会参加と余暇支援を行いました。

- 療育レクリエーション
- 料理サロン
- 陶芸教室
- しょうがい児者
- 保護者交流事業
- おもちゃ図書館
- 元氣クラブ



### 在宅介護者のつどい事業

在宅介護者を対象に、介護技術の向上と精神的な負担軽減を図るために、学習会や交流を行いました。

- ・開催回数 一五回

### ふれあい備品助成事業

自治会に対して、地域福祉活動や交流事業等に必要な備品の整備を支援しました。

- ・助成団体数 三三自治会

ふれあい用具貸出事業  
地域の団体に対して、必要な用具を貸し出し、地域交流等の増進に努めました。

・貸出件数 一四六八件

福祉用具・介護車両貸出事業  
在宅での生活を支援するため、福祉用具の貸し出しを行いました。また、外出支援のため、介護車両の貸し出しを行いました。

・福祉用具貸出 三二二回  
・介護車両貸出 二五四回

### 社会福祉大会

社会福祉の向上に多大な貢献をされた方や団体を表彰し、社会福祉の啓発を図りました。市民の福祉に対する意識の向上を目指して講演会を開催するとともに、福祉作文の表彰及び発表、ボランティア活動の発表、各種福祉関係の展示を行いました。



### ワークキャンプ支援事業

限界集落での地域課題緩和のため、若年層ボランティアの地域活動への参加を企画し、地域課題に対する認識と地域住民との交流を深めました。



### 福祉出前講座

市民団体等が主催する集会などで、職員を派遣して講座を行い、市民との協働による地域福祉活動の推進を図りました。

派遣回数 一八回

### 業

冒険遊び場づくり活動支援事業  
地域住民が主催者となり、「地域住民が力を合わせて子どもが遊ぶ環境づくり」、「子どもの健やかな育ちを支えるための地域づくり」、「冒険遊び場づくりを通じた、地域コミュニティの再生」を目指して行われる「冒険遊び場」づくりを支援しました。

## 生活相談支援

### 地域福祉権利擁護事業

認知症高齢者・知的しょうがい者・精神しょうがい者などが判断能力が不十分な方に対して福祉サービスの利用手続きの援助・代行や日常生活管理等の援助を行い、地域で自立した生活が営めるよう支援しました。

### 成年後見事業

判断能力が不十分で、法律行為等について自己の判断で適切に行うことが困難な方を、本会が成年後見人、補助人となり利用者本人の権利擁護に努めました。

### よるず相談事業

広く地域住民の日常生活の悩みや心配ごとに対して適切な情報の提供を行い、生活の安定を図れるよう努めました。

### 生活福祉資金等の貸付事業

低所得世帯等を対象に、生活福祉資金を貸し付けることにより当該世帯の安定と経済的自立の推進に努めました。

### 生活福祉資金貸付事業

たすけあい資金貸付事業  
緊急食糧品給付事業



## ボランティア支援

### ボランティアセンター事業

ボランティア活動を支援し、住民参画による地域福祉の推進を図りました。地域住民が幅広くボランティア活動に参加できるよう、活動に関する相談、情報・資料の提供、講座の開催やボランティア活動に対する啓発に努めました。

### 福祉教育支援事業

市内の学校との連携を基盤として、福祉への理解と関心を深め、思いやりの心を育てるため、児童・生徒が身近にボランティア活動や福祉活動に取り組める福祉教育の推進に努めました。

## 地域介護支援

### 生活機能低下予防事業

介護が必要となることが心配される高齢者に対し、定期的な外出の機会をもつことで閉じこもりを予防し、心身の運動機能の向上を目的としたレクリエーション等を実施して介護予防に努めました。

### 転倒予防事業

介護が必要な状態になることが心配される高齢者に対し、特に下肢の運動機能向上を図ることにより、要介護状態への移行防止に取り組みました。

### 家族介護教室

介護をしている家族等を対象に、適切な介護知識や技術が習得できる講座を開催し、安心して介護が継続できる支援に取り組みました。

### 介護あんしん窓口事業

在宅で介護等を必要とする高齢者やその家族に対して、総合的な相談に応じ、在宅での生活を支援しました。

## 在宅介護サービス

介護保険制度や障害者自立支援法による在宅サービスの提供を行いました。また、年間を通し各サービスにおいて介護を目指す生徒・学生・社会人を実習生として受入れ、介護への理解と将来の実践者教育としての指導を行いました。

### 居宅介護支援事業

### 通所介護事業

(デイサービス)

### 訪問介護事業

(ホームヘルプ)

### 訪問入浴介護事業

### 地域密着型介護事業

## 福祉施設の管理運営

福祉施設を地域福祉活動の拠点として管理業務を行いました。



会長再任にあたって

社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会

会長 一居 隆夫

市民の皆様方には、社会福祉協議会の事業運営に対しまして、日頃よりご支援・ご協力をいただき誠にありがとうございます。

この度の社会福祉協議会役員の変更に伴い、新たな理事・評議員を選任し、会長に再任いただきました。

さて、今日の急速な少子高齢化社会の進行や家族機能の変化等により社会福祉を取り巻く環境も大きく変化しており、福祉への需要も拡大・多様化しております。現代の社会は物が豊かで便利な社会となりましたが、このような情勢の中で地域社会を構成する基礎となる人間関係は希薄になり、心の通いあえない寂しさを感じるような社会へと様変わりしているように思われます。

このような中で、長浜市社会福祉協議会では「長浜市地域福祉活動計画」の作成を進めております。この活動には市民の皆様のご協力が必要であり、行政はもとより民生委員・児童委員並びに自治会、福祉関係団体等との連携を図りながら、地域住民皆様と共に「地域の絆で ともに育み支えあい 安心して暮らせるまち 長浜」を進めていきたいと考えております。

私も引き続き、「地域福祉の推進」という社会福祉協議会の使命に向かって邁進する所存でございます。

皆様の更なるご支援・ご協力をお願い申しあげまして、会長就任のご挨拶とさせていただきます。

長浜市社会福祉協議会 新役員の紹介

任期：平成25年6月1日～平成27年5月31日

	氏名	選出区分	
会長	一居 隆夫	社会福祉事業について学識経験者	
副会長	川地 勲	社会福祉事業について学識経験者	
副会長	大谷 晶子	社会福祉事業について学識経験者	
理事 18名	漣 藤寿	社会福祉事業について学識経験者	
	川邊 隆夫	社会福祉事業について学識経験者	
	是洞 尚武	社会福祉事業について学識経験者	
	富永喜久男	長浜市民生委員児童委員協議会会長	
	小崎 春生	長浜市民生委員児童委員協議会副会長	
	西川 英敏	長浜市連合自治会会長	
	山口 忠義	長浜市老人クラブ連合会代表	
	川崎 弘子	赤十字奉仕団長浜市地区委員会代表	
	宮川 和彦	社会福祉・医療保健事業関係（伊香の里所長）	
	中野 正治	南郷里地区社会福祉協議会	
	竹田 修一	神照地区社会福祉協議会	
	小嶋 正秋	湖北福祉の会	
	山表 雄二	木之本福祉の会	
	福井 正俊	長浜市健康福祉部長	
	河毛 貞子	長浜市社会福祉協議会事務局長	
	監事 2名	金沢 作衛	学識経験者
		中川豊太良	社会福祉事業について学識経験者
	評議員 37名	田中 章五	長浜市連合自治会副会長
山崎喜世雄		長浜市連合自治会副会長	
辻 慶一		長浜市連合自治会副会長	
中島 侑		長浜市民生委員児童委員協議会代表	
清水 良隆		長浜市民生委員児童委員協議会代表	
北村 隆		長浜市民生委員児童委員協議会代表	
松村 吉洋		長浜市民生委員児童委員協議会代表	
角田 精純		長浜市民生委員児童委員協議会代表	
北村 孝		長浜市民生委員児童委員協議会代表	

	氏名	選出区分
	増谷 綱一	長浜市民生委員児童委員協議会代表
	角川 幸子	赤十字奉仕団長浜市地区委員会代表
	前田 初子	赤十字奉仕団長浜市地区委員会代表
	廣田 滋	長浜市ボランティア連絡協議会代表
	小寄 光輝	長浜市ボランティア連絡協議会代表
	阿閉 博子	長浜市ボランティア連絡協議会代表
	長田 紀美	長浜市子ども会指導者連絡協議会代表
	友田 昭夫	長浜市青少年育成市民会議代表
	澤田 紀子	長浜市健康推進員協議会代表
	小倉 昭憲	長浜人権擁護委員協議会代表
	谷口 久夫	長浜市保護司会代表
	横田 重子	長浜地区更生保護女性会代表
	酒井 なつ	長浜市身体障害者福祉協会代表
	脇坂 良平	長浜市手をつなぐ育成会代表
	宮川 敏江	長浜市母子福祉のぞみ会代表
	大家 博	長浜市遺族会代表
	福永 利平	六荘地区社会福祉協議会
	森 芳生	北郷里地区社会福祉協議会
	中澤 芳一	長浜地区社会福祉協議会
	横田 信三	西黒田地区社会福祉協議会
	畑澤誠一郎	神田地区社会福祉協議会
	寺居 和廣	浅井福祉の会
	田邊 兵一	びわ福祉の会
	田邊太美雄	虎姫福祉の会
	七里 藤吾	高月地区社会福祉協議会
	布施 紘一	余呉福祉の会
	丹治 治子	西浅井ふくしの会
	大野 道浩	教育機関（湯田小学校校長）

（敬称略）

## 社会福祉協議会 会費納入にご協力をお願いします。

社会福祉協議会は、子どもから高齢者・しょうがいのある人など、誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指し、様々な地域福祉事業を推進しています。そのためには、市民の皆さま一人ひとりの支えが必要です。地域福祉事業の財源となる社会福祉協議会会費について、皆さまのあたにかいご理解とご協力をお願いいたします。

一般会費 1口 380円

特別会費 1口 3,000円

一般会費：各自治会様を通じてご依頼いたします。

特別会費：ご依頼の通知をお送りさせていただいている法人様等の他、ご協力いただける法人様等は、下記までご連絡をお願いします。

税制上の優遇措置

所得税法第78条による寄付金控除（個人の場合）、法人税法第37条による損金算入（法人の場合）が適用されます。

【お問合せ先】長浜市社会福祉協議会 総務課  
TEL 78-8294

## 日本赤十字社社資募金へのご協力 ありがとうございました。

日本赤十字社の活動は国境、人種、宗教、政治的対立など大きな障害を乗り越えて、災害援護活動、医療事業、血液事業、救急法・家庭看護法等の講習普及、奉仕団活動の推進、青少年赤十字の育成、社会福祉施設の運営など多岐にわたり活動を展開しています。

長浜市でも自治会や赤十字奉仕団の皆さまのご協力により、赤十字活動に必要な社資募金をいただくことができました。市民の皆さまの温かいご支援とご協力に心から感謝申し上げます。

### 日本赤十字社社資募金実績額 (平成25年6月20日現在)

社資・寄付金	9,263,367円
法人社資	794,000円

## 長浜市社会福祉協議会 余呉センター事務所移転のお知らせ

長浜市社会福祉協議会余呉センターの事務所を下記のとおり移転しました。

旧事務所 余呉やまなみセンター内  
長浜市余呉町中之郷 2434 番地



新事務所 余呉高齢者福祉センター内  
(旧余呉町老人福祉センター内)  
長浜市余呉町中之郷 956 番地 2

移 転 日 平成25年7月1日(月)

※電話番号、FAXについて変更ありません。  
TEL：0749-86-8109 FAX：0749-86-8111

## 地元の繁栄に奉仕する長浜金融協議会

大垣共立銀行  
滋賀銀行  
長浜信用金庫  
関西アーバン銀行

わたしたちは、未来に大切な「人・自然・地域・組織」を創造します。

Step by Step  
一歩一歩 着実に

## 北びわこ農業協同組合



JA 北びわこイメージキャラクター

“ゆめまる”

〒529-0341  
滋賀県長浜市湖北町速水2721番地  
TEL：0749-78-2400(代)  
FAX：0749-78-2420  
http://www.jakitabiwako.jp  
E-mail：soumu@kitabiwako.jas.or.jp

## 地域のまちづくりに取り組んでいます

♡ポイントを集めてステキな特典

加盟店でお買いあげ100円 ➡ ポイントは加盟店でお買物にご利用できます!!  
ごとに1ポイントつきます ➡ 1000ポイントで1000円の現金に交換します!!

♡国内初!!住民基本台帳カードにシュッセカード機能をプラス  
特典いろいろ、楽しさいいろいろ。

シュッセカード  
**SUCCESS CARD**  
加盟店 募集中 長浜商店街連盟  
会員 募集中 長浜倶楽部 62-0500



## レーク伊吹農業協同組合

琵琶湖と伊吹山に囲まれたJAレーク伊吹は、  
人と自然と街を愛で優しく包みます。



〒521-0062 滋賀県米原市宇賀野280番地1  
TEL：0749-52-6520(代) http://www.lakeibuki.jas.or.jp

# 地域を支える人たち

## 福祉教育を支える

Vol.4

福祉教育は、学校や企業や地域で、車イス、アイマスク、白杖、手話、要約筆記などの体験学習や、しょうがいのある方からのお話などを通して、いろんなしょうがい等についての理解を深め、心のバリアフリーにつなげることを目的に行っています。

### 『紹介』



田尻みどりさん

視覚しょうがい者です。皆さんの顔は全然見えていないですが、声でどなたが話しているのか理解するようになります。



美濃部弘道さん

NPO法人「C-1」だんだん「から来ました。社会の意識を変えていきたい」ということを伝えていきます。



饗場 東一さん

脊髄損傷で下半身が麻痺して立てません。市社協からの要請で市内外のいろんな学校で話をしています。



吉川英子さん

私はろうあ者で、聞こえないです。手話サークルに参加しています。手話でコミュニケーションができる人が増えてほしいです。



松井かよ子さん

耳が聞こえません。私は中途難聴者で聞こえなくなつて十二年経ちました。

### 『伝えたい思い』



饗場 小学校・中学校・高校・一般社会人・民生委員の方を対象に話をする内容は、「車イスから見た社会」をテーマに話をしていきます。私は車イスを利用している当事者になりますので、車イスのことを理解してもらうのは、車イスに乗っている私の仕事だろうと思います。そして、少しでも福祉を理解してもらいたいと思っています。

美濃部 社会を変える必要性があると伝えていきます。例えば、駅には必ず階段があります。でも、エレベーターがないところもあります。駅に階段が無かったら、歩ける人でも電車に乗れません。健常者に鳥になって飛べと言っているようなものです。また、学年によって話す内容や話し方を変えています。

松井 私は、学校に頼まれて話しに行きますが、自分に元気をもらえらると思つて訪問しています。中途しょうがい者なので手話はあまり分からないので、要約筆記の方が必要だと

今回集まっていたいただいた当事者の方は、それぞれ違うしょうがいである。でも、福祉教育への思いは熱い・・・  
伝えたいこと、同じ思いで福祉教育に携わつておられるから、伝わるのだ

いうことを訴えています。

吉川 聴覚しょうがい者の中には、手話のできる人は少ないです。手話を通じるように、皆さんに学んでもらい、コミュニケーションのできる人が増えてほしいと思います。そして聴覚しょうがい者への理解を広げてほしいです。



田尻 「視覚しょうがい者」点字を読める、打てる」とは違います。「白杖を持っている人」全盲」ではないということも伝えていきます。また、家の中では生活できます。でも、外に一歩出たら分かりません。戸外で

白杖を持っている人を見たらまず、一声かけてほしいということをお願いしています。

**饗場** 学校訪問で私達のような車イスに乗っているしょうがい者、目の見ええないしょうがい者、耳の聞こえないしょうがい者と、違うしょうがいの方と話す機会があり、三者の思いが共通したのは、やはり人から「かわいそう」と思われることが嫌ということが一致しました。しょうがい者へのかわいそうという同情感を最初から持っている人が嫌だなあと・・・。

**松井** 私は耳の異常を感じた時、病院でいろいろ検査してもらっても聞こえず、大学病院へ行って検査してもらっても聞こえず、途方にくれていますが、近所の八十歳代のおばあさんが「耳の聞こえないことは悪いことではないのだから、聞こえないことをみんなに知ってもらおうように」と言ってくれて、本当にそうだと思います。

**田尻** 目の見ええないことが「かわいそうだな」と言われるけれども、見えなくても食べれば美味しいし、どこでも行けて「かわいそう」なことではないです。不自由であっても「かわいそう」ではないですね。

**饗場** 不自由と「かわいそう」は違います。

**美濃部** 特に高齢の方に会うと「あんたかわいそうにな」と同情される。だからこそ、子

ども達にはできるだけ小さい頃からしょうがい者に対する理解をしてもらえよう、僕らができることをしたいと思っています。

**ボランティアセンター** 福祉教育の講演をお願いする時、ボランティアセンターとしてしょうがい者という感覚でコーディネートをしていません。一個人としてお願いしていますが、配慮不足かと心配もしています。

**田尻** 職員の方は、しょうがい者という扱いをせずに普通に言ってくださいます。目が見えない事に対しての配慮はしてくださるので何も思いません。

**美濃部** 無駄な配慮はいりません。

**饗場** 無駄な配慮はかえって迷惑になります。僕らもプライドが傷つくことがあります。

適切な配慮とは、安全などへの気配り

『こんなこととどっぴり思っ』

**吉川** 聞こえない人と手話で話をしていたら、見る人がいて笑われました。興味本位で見ている人もいます。笑われたことがあったので、聞こえないことを知られたくなく黙っている時があります。白杖を持っていたら見えない方だなと分かりますが、聞こえないしょうがいは、見た目では分かっても見えません。

**松井** 話をするときにみんなは楽しく笑う。けれど、私は聞こえないので一緒に笑えないからそれが寂しい「です。でも、こんなこともあります。二・三日前に健診に一人で行きました。要約筆記の方を頼むのが遅かったので一人で行ったら、メモして応対してくれて、一人手話の出来る人がいて向こうから手話で話してくれて、嬉しかったです。

**美濃部** 私が外に出かけた時に、私ではなく、一緒にいるヘルパーさんに話しかけられることがよくあります。私が話しているのだから私を向いて話をしてほしいと思います。

**田尻** 私もよくあります。病院へ行った時に、先生は私が患者なのに私に話をしてくださいません。困りますよね。

**美濃部** 大切なことは直接私に言ってほしいです。

**田尻** 理解が出来ない訳ではないのです。本人に言ってほしいですね。

**美濃部** 講演の時、始めは子ども達もあまり私のことを見てくれませんが、終わった時には変わっていて、見てくれるようになるので嬉しいですね。



**田尻** 「パーキングパーミット」という、しょうがい者を理解してもらおうための青色の札のことを知っていますか？車イス使用は青色、緑色は思いやり区間という風になっています。私のように車を運転しないしょうがい者は、思いやり区間になります。

**饗場** 毎年十二月の第一週に、滋賀県では「しょうがい者ウィーク」という週間があり、私は車イスマークの所に車を停めないでくださいというビラ配りを毎年しています。こういう活動も地道ですがやっています。

**美濃部** いいですね。みんなでもたやりましょうよ。

**ボランティアセンター** この前、吉川さんは車の免許を取られたのですが、「障害者等用駐車場」に停めるのですか？

**吉川** 私の車には、しょうがいを表す蝶々のマークがついていますが、普通の所に停めません。

**饗場** 車イスマークの駐車場に停めるのは、原則としてしょうがい者が自分で運転している車です。乗せてもらっているのは一般車という理解をしてほしいです。病院へ行くと、高齢者の方の付き添いの方が堂々と車イスマークの所へ停めるのはいかがなものかと思えます。

**田尻** それのために「パーキングパーミット」

という緑色の思いやり区画が必要なんですよ。ね。

## 伝えたいメッセージは…

**饗場** 勉強だけでなく、人を思いやる、心温かい人になってほしいです。

**美濃部** 優しさも必要です。でも優しさだけでなく私たちと一緒に社会を変えてください。いくら優しくされても一人で電車に乗れる訳でも、買い物に行ける訳でもないです。社会を変えようという気持ちがあれば変わっていくと思います。私たちだけで活動していても一部の声で終わってしまいます。みんなが思うことで、例えばエレベーターをつけようとか変わっていくのかもしれないので、そういうことを伝えていきたいです。

**吉川** 地震や災害があった時に、放送も聞けないのでそういう時には助けて欲しいです。近くに手話が出来るといいと思いますが、難しいのでメモをしていたいていますが、手話でコミュニケーションを取れるようになってもらえたら・・・。

**松井** みんなで助け合う気持ち、助け合う心を持って欲しいです。私たちが学校に行く時は出来るだけ交流を深めて欲しいです。聞かないから、話してもらっても全く分かりません。だから、話をする時にはメモをして渡してもらえると嬉しいです。

**田尻** 白杖を見たら「何かお手伝いしましょうか」と声をかけて欲しいです。車イスの人などみんなに声をかけられる思いやりのある人になって欲しいと思っています。

## 福祉教育の講演に一諸に付き添って いただいている方からの一言

**手話通訳・岩崎さん**「少しでも多くの方に理解してもらえるように通訳したいと思う。」

**要約筆記・瀧澤さん**「当事者の方の言葉の方が気持ちが入っているから、伝わりやすいと感じます。」

**ヘルパー・山田さん**「ヘルパーとして地域に出て行き、しょうがい者の方が声を出すことで実際に変わっていくことがあることを実感しています。」



今回の会談で、気付くことがたくさんありました。今後、当事者の方からの意見を聞き、思いやりのある人を育て、住みやすい町になるように、共に笑顔のある町づくりを目指したいと考えています。

長浜市社会福祉協議会  
ボランティアセンター便り

No.37

# えくすてんど ひろがり

## ボランティア講座のお知らせ!

会場 長浜市社協湖北センター  
定員 先着50人  
受講料 無料  
申込み 7月16日(火)~8月20日(火)  
ボランティアセンター TEL62-1804



ボランティアの  
きっかけづくり講座

### 【1日目】

8月30日(金) 13:30~15:30  
長浜市内のボランティア活動について  
ハンドマッサージボランティアの体験談

### 【2日目】

9月4日(水) 13:30~15:30  
野外ボランティア活動者の話  
ボランティア体験

ボランティアを始めたい!新しいことに挑戦したい!ボランティアを始めたい方のきっかけづくりとして講座を開催します。ぜひ参加を...

### 【3日目】

9月9日(月) 13:30~15:30  
ハンドマッサージ体験(講師 高岸治療院)  
振り返り

# 音訳ボランティア養成講座



始めませんか!

音訳ボランティアをご存じですか?  
高齢者や視覚しょうがい者の方に音による情報を伝えるボランティアです。  
市の広報を録音し、必要な方にお渡ししています。

会場 長浜市社会福祉センター  
定員 15人(先着順)  
今後ボランティア活動をしていただける方  
受講料 無料  
ただし、資料代 一冊 762円(税別)  
講師 県視覚障害者音訳ボランティア  
音訳指導員 岡村恵子氏  
申込み  
7月16日(火)~ 定員になり次第締め切ります。  
ボランティアセンター TEL62-1804

### 日程

9月 2日(月)  
9月17日(火)  
10月 7日(月)  
10月21日(月)  
11月 5日(火)  
11月18日(月)  
12月 2日(月)  
12月16日(月)  
1月14日(火)  
1月27日(月)  
2月 3日(月)  
2月17日(月)  
3月 3日(月)  
3月17日(月)  
すべての日程で  
10:00~12:00

# インフォメーション

## 常勤嘱託職員 募集

介護支援専門員・・・3名

1. 勤務場所 居宅介護支援事業所 5事業所
2. 給与等（採用時）月額190,600円

デイサービスセンター看護師・・・2名

1. 勤務場所 デイサービスセンター等 11事業所
2. 給与等（採用時）月額212,600円

詳細は当会ホームページにて掲載

【お問い合わせ先】総務課・介護事業課  
TEL 78-8294



## 成年後見制度 なんでも相談会

ご本人、ご家族、支援者の方々、地域のみなさんからの「成年後見制度って何だろう」「成年後見制度は何に役に立つの?」「どうやったら成年後見制度は使えるの?」など、お気軽にご相談ください(無料)。

日	時	会場
平成25年 7月26日(金)	13:30~15:30	長浜市社協湖北センター
平成25年 9月27日(金)	13:30~15:30	特別養護老人ホーム 伊香の里
平成25年11月22日(金)	10:00~12:00	湖北会 あそしあ
平成26年 1月24日(金)	13:30~15:30	長浜市社協湖北センター
平成26年 3月28日(金)	13:30~15:30	長浜市社協湖北センター

相談員：司法書士 菅原 信道氏

※原則予約制です

【お問い合わせ】長浜市社会福祉協議会 地域福祉課

南部地域支援センター TEL 62-1804

北部地域支援センター TEL 82-5419 まで



## よろず相談

よろず相談は、市民の皆様の身近な相談機関として日常の困りごと、心配ごとの相談に応じています。相談内容は秘密厳守ですのでお気軽にご相談ください。どこの会場でもご相談いただけます。

地域	相談日	時間	場所
長浜	毎週月・火・水・金曜日 毎週木曜日	午後1時~4時 午前9時~正午	長浜市社会福祉センター
※上記日時なら電話での相談も可能です。電話63-4811			
浅井	毎月第1金曜日	午前9時 ~正午	浅井福祉センター
びわ	毎月第1火曜日		びわ高齢者福祉センター
虎姫	毎月第1月曜日		保健センター虎姫分室
湖北	毎月第4水曜日		湖北デイサービスセンター
木之本	毎月第4木曜日		木之本福祉ステーション
高月	毎月第2水曜日	午後1時 ~4時	長浜市役所高月支所
余呉	毎月第1金曜日		余呉高齢者福祉センター
西浅井	奇数月第2火曜日		保健センター西浅井分室
	偶数月第2火曜日		長浜市役所西浅井支所

## 法律相談

毎月第4木曜日	午後1時~午後4時	長浜市社会福祉センター
予約制ですので事前に申し込みが必要です。電話62-1804		

## サマーハウス開催のお知らせ

長浜市社会福祉協議会では、養護学校や特別支援学級に通われている子どもたちを対象に、夏休みがいつもより少し楽しくなるお手伝いをと考え、サマーハウスを計画いたしました。是非参加してね。

月 日	開催場所	内 容	参加費(ひとり)
7月25日(木)	浅井福祉センター	体操 : カード作り、おにぎり作り、エプロンシアター	100円
7月31日(水)	高月福祉ステーション	オリエンテーション : ピザ作り、人形劇、お母さんの勉強会	300円
8月 6日(火)	木之本福祉ステーション	会場探検 : レクリエーション、お弁当作り、親子で工作	お弁当作り300円・工作100円
8月11日(日)	湖北福祉ステーション	15分の学び : バーベキュー、レクリエーション	大人700円・子ども400円
8月20日(火)	臨湖	: レクリエーション、茶話会	茶話会500円

開催時間は毎回9時半受付 10時開催です

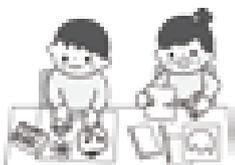
申込みについて

【参加対象】養護学校または長浜市内の小学校特別支援学級に通われている子とその保護者

【定 員】25組

【申込み締切】平成25年7月22日まで

【お問い合わせ・申込み】長浜市社会福祉協議会木之本センター TEL 82-5419





## 地区活動紹介

### 虎姫地区

## 手をつなぐ育成会お楽しみ会

4月14日(日)虎姫地区のお楽しみ会が開催されました。参加者26名が、ミニピアノコンサートや太鼓相撲大会虎姫場所、ビンゴゲームなどで交流しました。太鼓相撲では、力士を紙で作り四股名を工夫した各々の力士の登場と、番狂わせの取り組み結果に、思わず声援が飛び交い、楽しい思い出になった一日でした。



### 西浅井地区

## 放課後児童クラブ

西浅井ふくしの会では、5月1日から放課後児童クラブを開設しました。子どもたちは学校が終わるとお出かけワゴンに乗り保健センターへ「ただいま」と帰ってきます。指導員の先生と宿題をし、学校での出来事を楽しくお話ししたり、お家の人の迎えまでみんなと楽しく遊べます。みんな児童クラブが大好きです。

### 六荘地区

## 事業所福祉募金訪問

六荘地区社協では、地元の企業・商店から福祉活動に対する財源の協力を呼び掛けておられます。

去る6月12日(水)地区社協の役員さん、民生委員さんの手により募金活動に回られました、当日は暑い日となりましたが「六荘地区の福祉の推進のため」と163事業所からの協力をいただくことが出来ました。

市内各地区社協(福祉の会)では、地区の福祉推進のための財源を創意工夫しながら住民の皆様にご協力をいただいております。今後ともご協力よろしくお願いいたします。



### 余呉地区

## サロンボランティア研修会

余呉地区の各サロンで活躍いただいているボランティアの皆さんに参加をいただき、6月26日(水)サロンボランティア研修会を行いました。当日は、「即活かされるサロン・レクリエーション」と題して、滋賀県レク・ネットワーク『この指・とまれ』の松藤弥一郎氏を講師に招き、歌に合わせて肩をお互いにたたきあったり、滋賀県の市町村名をつかったゲームなどを体験しました。



### 延勝寺自治会

## 『見守り隊』～広報掲載その後～

前号の特集でご紹介しました延勝寺自治会の『見守り隊』について、取材をさせていただきました丸岡さんより、ご連絡いただきました。

記事を見た同じ自治会の方が「こんなことしてたんや!隣近所ぐらいだけど、私も手伝うで!」と声をかけられたそうです。またそれ以外にも、他の自治会の方から、「うちでも、そんな活動があったらな。地域の方に見守られるのが、一番安心するから」「どのように始めたん?」などの問い合わせがあったとのこと。この広報紙が地域の活動を広げるきっかけとなり、とてもうれしいお話でした。